

稲作情報 (Vol.8)

令和6年8月9日
 石巻地方米づくり推進本部
 宮城県石巻農業改良普及センター
 TEL:0225-95-7612 FAX:0225-95-2999
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/>

管内の出穂期は7月29日で平年より3日早い。収穫適期は9月上旬の見込み。

7月下旬以降の気象経過

7月下旬の気温は平年を上回って推移し、最高気温が30℃を超える真夏日が8日間ありました。7/24~7/28の日照時間は平年を下回りましたが、その後は平年を上回っています。降水量は7/25には31mmのまとまった降雨があり、平年を上回りました。8/1に東北南部が梅雨明けしました。8月以降も高温多照傾向が続いています。

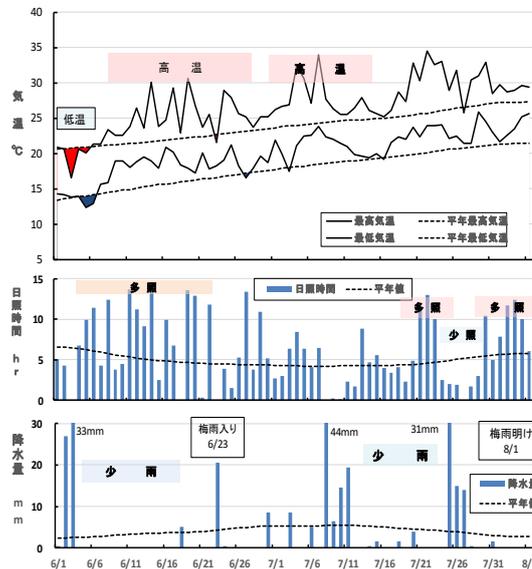


図1 田植後の気象経過(アメダス石巻)

水稲の生育状況

移植栽培

<出穂期は平年より2~3日早い>

- 出穂期は7/25~7/31と平年より2~3日早まりました。
- 穂揃期の葉色は30.5~40.5で平年よりやや淡い~濃いと、ほ場により差がありました。
- 止葉葉位は、12.8~13.8枚で、平年並みのほ場もありましたが、平年より多い傾向でした。

乾田直播栽培

- 河南ササニシキの出穂期は7/26と平年より11日早まりました。穂揃期葉色は35.0で平年より、わずかに濃くなっています。止葉葉位は12.4枚で平年並みでした。桃生ひとめぼれでは出穂期が8/6で、穂揃期の葉色は38.4、止葉葉位は14.0枚でした。

表1 生育調査ほ等の調査結果(穂揃期調査)

品種名	地区名	田植月日	出穂始期 (平年差)	出穂期 (平年差)	穂揃期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	止葉葉位 (平年差)	備考
ひとめぼれ	石巻市広瀨	5/6	7/25	7/27	7/29	37.7	13.4	新規
ひとめぼれ	東松島市矢本	5/5 (-2)	7/26 (-3)	7/28 (-2)	7/30 (-3)	32.4 (+0.4)	12.8 (-0.2)	
ササニシキ	石巻市桃生	5/17 (+6)	7/29 (-2)	7/31 (-2)	8/3 (-2)	30.5 (-1.5)	13.8 (+1.1)	
ササニシキ	石巻市稲井	5/9 (0)	7/27 (-3)	7/29 (-3)	8/1 (-5)	38.0 (+4.0)	13.6 (+1.0)	
つきあかり	石巻市広瀨	5/9	7/23	7/25	7/28	40.5	13.6	新規
品種名	地区名	播種日 (平年差)	出穂始期 (平年差)	出穂期 (平年差)	穂揃期 (平年差)	穂揃期葉色 (平年差)	止葉葉位 (平年差)	備考
乾直ササニシキ	石巻市河南	4/2 (-5)	7/24 (-12)	7/26 (-11)	7/29 (-11)	35.0 (+1.9)	12.4 (+0.1)	
乾直ひとめぼれ	石巻市桃生	4/5	8/1	8/6	8/9	38.4	14.0	新規

表2 管内及び県の出穂状況

	出穂始期 (5%)	出穂期 (50%)	穂揃期 (95%)
石巻管内	7月25日	7月29日	8月5日(見込み)
前年差	1日早い	1日早い	同じ
平年差	4日早い	3日早い	4日早い
宮城県	7月24日	7月29日	8月5日(見込み)
前年差	2日早い	1日早い	同じ
平年差	4日早い	3日早い	4日早い

※1: 出穂始期, 出穂期, 穂揃期は, 作付面積比の5%, 50%, 95%以上が出穂期に達した日

※2: 平年値は, 過去10か年から最も早い年と遅い年を除いた8か年の平均

管内全体の出穂期は7/29で平年より3日早くなりました。今年度は、出芽揃いの早かった乾田直播栽培の出穂が移植栽培よりも早いほ場もありました。県全体の出穂期も7/29で平年より3日早くなりました。

今後の管理

1 水管理 ～出穂後30日頃までは飽水管理を～

- 出穂期前後の基本的な水管理は下図のとおりです。出穂期は水を多く必要とする時期なので、浅水管理とし、その後は飽水管理で水を切らさないようにしましょう。
- 出穂後5～15日の最低気温23℃以上が連続するような高温の場合、白未熟粒が多発し、著しい品質低下を招く危険がありますので、「**飽水管理**」を行うことで**日中及び夜間の地温上昇を抑えることが期待できます**。

※飽水管理：足跡の水がなくなったらごく浅めに入水する（表土が十分湿る程度）。十分な用水の確保ができず「昼間湛水・夜間落水管理」等が難しい地域やほ場では、「飽水管理」が有効です。

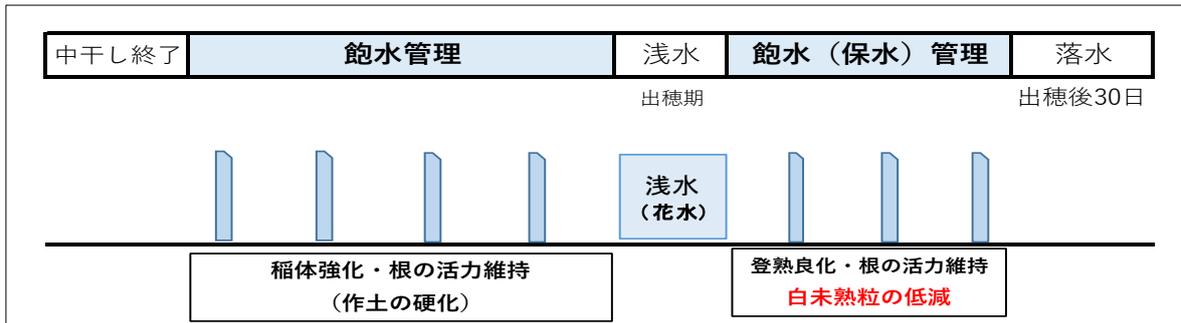


図2 高温時の飽水管理体系

- 早期落水は、登熟不良や品質低下の原因となるので、出穂後30日を目安に、**収穫作業に支障のない範囲で**できるだけ遅くしましょう。

2 適期刈取 ～出穂が早く気温も高いため、収穫適期は大幅に早まる見込み～

一般的なひとめぼれ、ササニシキの刈取早限にあたる成熟期は、籾の80～90%が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときとなります。出穂後の日平均積算気温からみた刈取適期の目安は表3及び表4のとおりで、出穂期が早いことと出穂後の気温が高く推移しているため、**刈取適期は9月上旬頃と、平年より大幅に早まります**。

表3 積算気温による刈取適期の目安

		管内出穂期		
		始期	盛期	終期
		7/25	7/29	8/5頃
刈取早限	940℃	9/1	9/5	9/13
刈取適期	1,000℃	9/3	9/8	9/16
刈取晚限	1,100℃	9/7	9/12	9/20

表4 品種毎の刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数
ひとめぼれ	940～1,100℃	40～45日
ササニシキ	930～1,150℃	45～50日
つや姫	1,000～1,200℃	50～55日
まなむすめ	960℃前後	45～50日
だて正夢	1,020～1,060℃	50日前後
金のいぶき	1,050～1,150℃	50～55日
みやこがねもち	1,000℃前後	45～50日

※8/7 現在 8/7 以降は前5か年平均値で計算

3 病害虫対策 ～斑点米カメムシ類の発生量は多い～

斑点米カメムシ類：本田侵入始期は「早い」、発生量は「多い」

- 8月5日に宮城県病害虫防除所から発表された病害虫発生予察情報では、斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ）の本田侵入始期は「早い」（第2世代成虫：8月第2半旬）、発生量は「多い」と予想されています。
- 薬剤防除は穂揃期とその7～10日後の2回防除が基本です。2回目の薬剤散布以降も斑点米カメムシ類の発生がみられる場合は、追加防除が必要となります。イヌホタルイが除草できなかった場合は、1回目の薬剤散布を「出穂始から穂揃期」に早めることで、斑点米カメムシ類の密度を低下させることができます。
- 環境保全米等でやむを得ず1回防除となる場合には、穂揃後3～5日頃に散布してください。

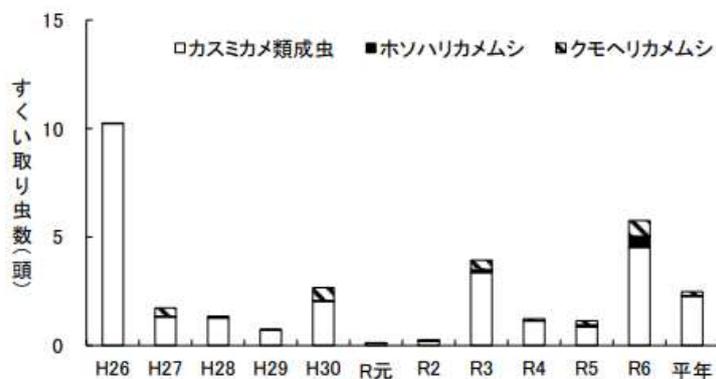


図3 本田における斑点米カメムシ類のすくい取り虫数（7月下旬）

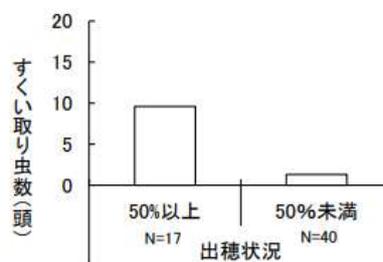


図4 出穂状況別の本田におけるアカスジカスミカメのすくい取り虫数（7月下旬）

穂いもち：発生量は「平年並み」

- 上位葉での発病は穂いもちの重要な伝染源になります。葉いもちの発生が確認された場合は速やかに茎葉散布剤を散布してください。
- 茎葉散布剤を使用する場合は、ほ場をよく観察し、1回目を出穂直前、2回目を穂揃期に実施してください。
- 「金のいぶき」は穂いもちの抵抗性がやや弱いため、穂いもち防除を3回実施してください。
- 直播栽培では、移植栽培より生育ステージが遅く、全般に葉色が濃く推移しやすいことから、葉いもちが発生しやすく、穂いもちに移行しやすい傾向があるので、茎葉散布剤による防除を実施してください。
- BLASTAMによる葉いもちの感染好適条件の推定結果は、以下のHPを参照してください。なお、8月1日時点では、感染好適条件の連続した出現は確認されていません。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>

紋枯病の発生量は「やや多い」

- 前年に形成された菌核が翌年の伝染源となるため、紋枯病が前年に発生したほ場では要防除水準を参考に防除を検討しましょう。
- 要防除水準：「ひとめぼれ」の減収率を5%以上と想定した場合、穂ばらみ期の発病株率は18%以上となる。要防除水準に達した場合、防除を実施してください。
 ※普及に移す技術第90号参考資料「イネ紋枯病の新しい要防除水準」
<https://www.pref.miyagi.jp/documents/20202/305990.pdf>
- 防除は穂ばらみ期の水面施用剤又は穂ばらみ期～出穂期の茎葉散布剤を施用してください。
- 多発が予想されるほ場では、穂揃期に追加防除を実施してください。

東北地方 1 か月予報			
(8月10日から9月9日までの天候見通し)			
令和6年8月8日仙台管区气象台 発表※抜粋			
<特に注意を要する事項>			
向こう1か月程度は気温の高い状態が続き、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。			
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>			
		低い(少ない)	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	80
【降水量】	東北太平洋側	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	20	40
<気温の階級の確率(%)>			
		低い	高い
1 週 目	東北地方	10	80
2 週 目	東北地方	10	80
3～4週目	東北地方	10	70

高温に関する早期天候情報 (東北地方)	
	令和6年8月5日14時30分 仙台管区气象台 発表
東北地方 8月11日頃から かなりの高温	
かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.7℃以上	
東北地方の向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため高く、11日頃からはかなり高くなる見込みです。気温が1年を通して最も高い時期ですので、熱中症の危険性が高い状態が続きます。引き続き、屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。また、農作物や家畜の管理等にも注意してください。	
なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。	

～ 宮城県農薬危害防止運動実施中！(6月1日から8月31日) ～